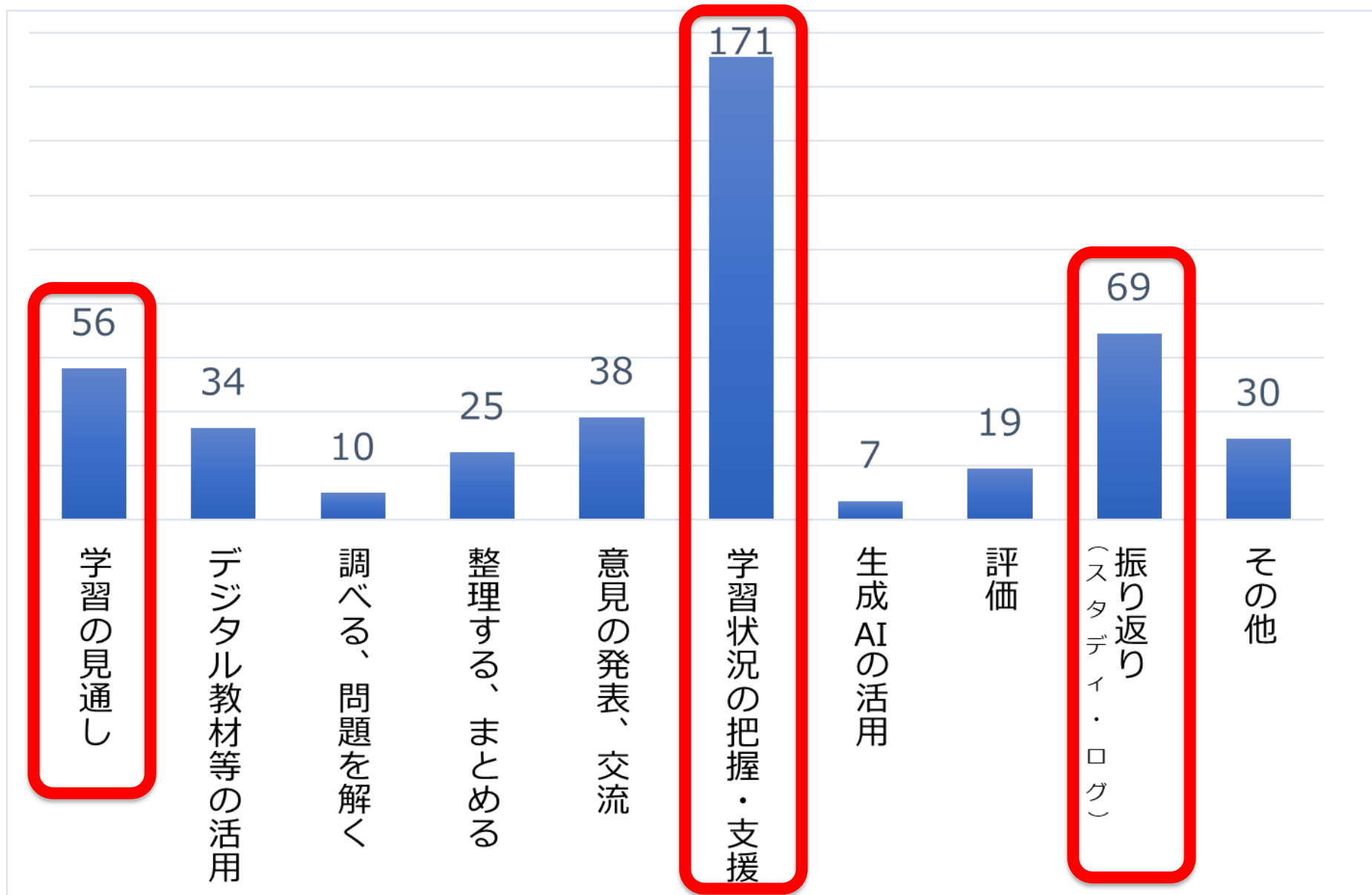


令和7年12月2日（火）  
GIGA StuDX推進チーム プチ学習会

# 学校の実践から学ぶ！ ～クラウド活用×学習の見通し編～

※リーディングDXスクール指定校の事例をもとに作成

# LDX指定校の取組内容【GIGA×指導の工夫・改善】



今日は何を学習するの？



この次は何をするのかな？

**学習の見通しを提示**



**子供は自分で学びを進められるようになっていく**

**教師の丁寧な指導の積み重ねが不可欠**

学習の手引き「今日の学習の見通しをたてよう」

### 1. 課題の確認

・英語の発音やイントネーション、音のつながりを意識して、音読できるようにしよう。  
つまり、3③を頑張ってほしいです！

### 2. 新出単語確認 (5分)

### 3. 課題に取り組む (35分)

①②でも、②①でも、  
時間配分も自分で決めよう。

取り組む順番

時間配分

クリアするレベル

学習の流れを確認

自分で学びを進める力をつける

1人で学ぶ



友達と学ぶ

# 学習の流れを提示

## 【取組内容】② クラスルームで「学習の流れ」を提示

The screenshot shows the Classroom app interface. At the top, it says 'Classroom > 1年1組 数学'. A yellow box highlights '1年数学'. The left sidebar has a menu with 'ホーム', 'カレンダー', '指導科目', 'チェックが必要な課題', '新 新津中職員室', and a list of classes: '1年1組 数学', '1年2組 数学', '1年3組 数学', and '1年4組 数学'. The main area shows the lesson plan for '1次式の項と係数' (Terms and Coefficients of a Linear Expression) for July 5th. It lists the flow: ①めあての確認, ②授業 (Metaphor), ③班学習 (Group Learning). The group learning section includes a list of activities: 'プリントの裏!', 'ワークP50【今日学習した内容】', and '動画で勉強'. Below this, there are two links for additional resources: '①1次の項と係数' and '②文字式の加法・減法'.

### 本日の流れ

#### ①めあての確認

#### ②授業

#### ③班学習【自分一人で行ってもよし、班で協力してもよし】

- ・プリントの裏！
- ・ワークP50【今日学習した内容】
- ・動画で勉強

○1次の項と係数 <https://edpuzzle.com/media/668512c0d767309>

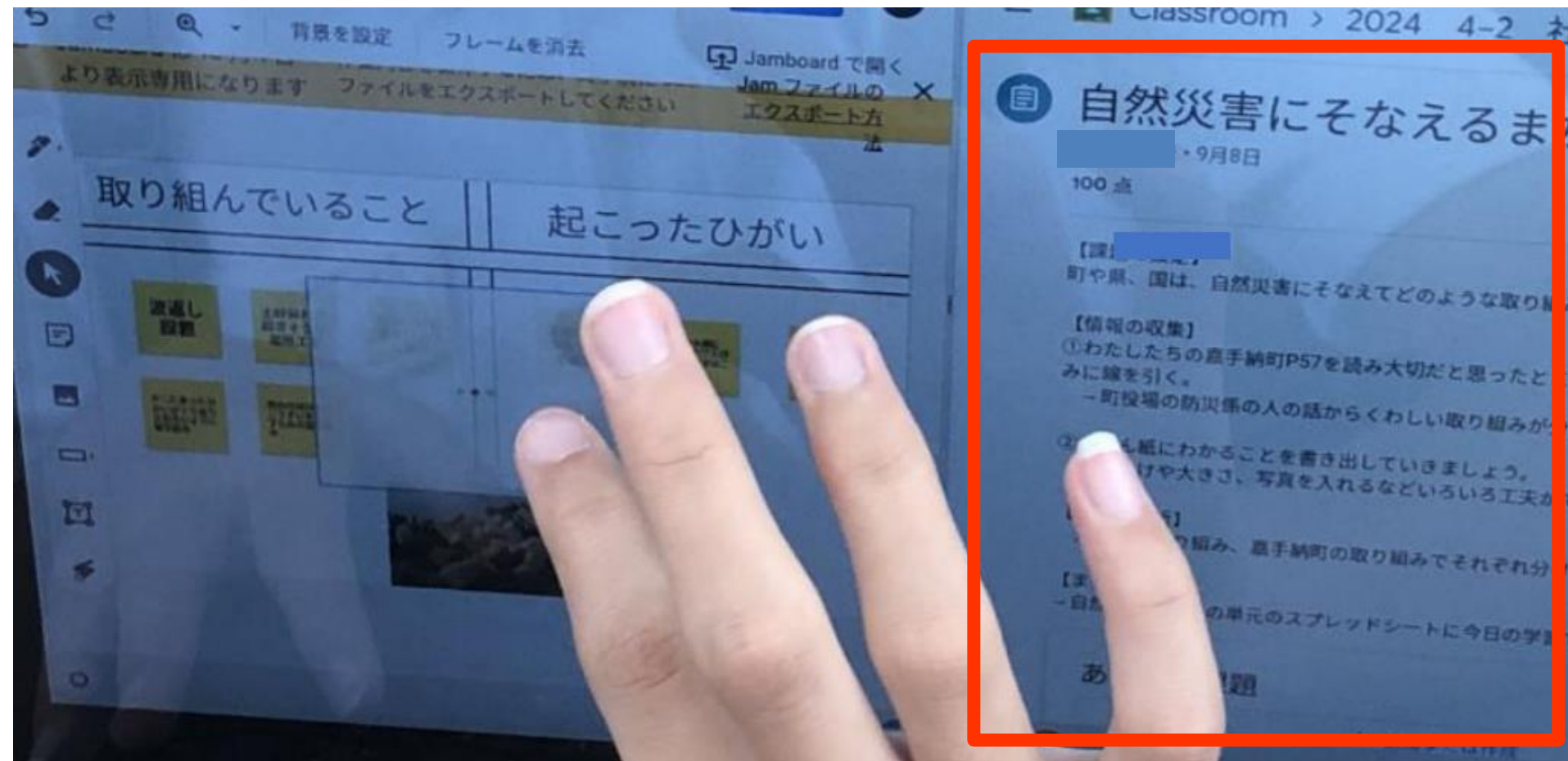
○文字式の加法・減法 <https://edpuzzle.com/media/6685149a475>

## 学習のペースや方法を自分で決められる



## 5

# 端末画面を分割して学習の流れを提示



いつでも何度でも めあてに戻れる

# 単元を通した学習の流れを共有

2組 3章方程式 めあて・ふりかえり

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

75% 123 デフォルト

2組 レベル別問題

2組 問題作成 成用スライド 解き方ヒントとスライド

解き方ヒント

○方程式を利用して問題を解く手順

- ①何を文字で表すかを決める。
- ②数量の関係を見つけて、方程式をつくる。
- ③方程式を解く。
- ④解が問題に適合しているかを確認する。
- ⑤単位をつけて解答する。

あなたがオーナーです  
このファイルの最終閲覧以降に追加された変更はありません

★ファイルへのアクセス権を必要としている共同編集者がいます

共有

1章 2章 3章1問 3章2問 3章3問 3章4問 3章5問 3章6,7問 3章8問 3章9問 3章10問 3章11問

## 学習の進捗を把握できる



# 1人でも安心して学べる

出典：R6リーディングDXスクール事業指定校（天草市立本渡中学校）

# 学習に必要な事項を1枚のシートで共有

＜ 日本文学 ＞

評価  
ポイント

単元計画






単元目標

課題

本時の  
計画

本時の成果  
(画像)

振り返り

時	日付	課題	学習計画 ☆何を/誰と/どんな方法で/どんなことを意識して/時間	本日の成果 (画像)	振り返り ☆「学んだこと、できたこと」+「次回に向けて」振り返る。	評価 学習計画
1時間目	11月11日	◎日本文化のよさを伝える文章を書く見通しをもとう。	前半は、教科書の例をクラスで読み取り見通しを持つ。後半は、グループで相談して題材を決める。		今日は、日本文化のよさを伝える文章を書く見通しを立てることができました。最初はクラスみんなで前にみんなで考えた後が使われているかどうかを考えて、それが終わったらグループで話し合い題材を決めました。今日はグループのみんなで本を読んで終わってしまい情報を集められなかったけど次の時間からは情報を集められるように頑張りたいです。	A
2日		◎情報を集めて、良さを整理しよう。	前半は、グループのみんなで作ってインターネットを使って自分たちが必要な情報を集めたり集めた「よさ」を分類して後半は、一人で(分からないことがあったらグループのみんなに相談しながら)自分の紹介したい和食の地域性について足りないところなどを調べる。		今日は、和食の「良さ」や「魅力」について調べました。最初はグループのみんなで作って情報を集めたり「良さ」を分類したりしました。それが大体終わってからは後半は、自分が紹介したい和食の地域性について本を読んでインターネットで調べたりしました。調べる順番で違いがあったり順番で違いがあったりして面白かったです。もう少し情報を集めたいので次回学習でやってきて次回からは構成を考えられるように頑張りたいです。	S
3日		◎伝えたい良さを考えて構成を決めよう。	今日はこの時間で構成メモを固めたらグループのみんなに相談しながら個人で完成させる。構成メモが完成したら詳しく書くものの良さについて調べそれが終わったらグループの中で困っている人がいたら助け合ってこの時間でグループのみんなが構成メモを完成できるように頑張る。		今日は、文章を書くための構成を考えることができました。簡単に書くところや詳しく書くところをどうしようか考えながら中の構成を考えました。終わりは最後の一文は、みんなの興味をひかれるような一文にしたかったのでそれを書いてグループの中で困っている友達を助けられなかったけど詳しく書くところの情報はたくさん集まったので良かったです。次回からは文章を書き始めるので今日考えた構成を見ながら和食の良さを伝えられるような文章を書けるように頑張りたいです。	S
4時間目	11月14日		今日の1時間では、構成メモをもとに文章を書いて情報が足りなかったら本やインターネットで調べてとりあえず文章が完成するところまで終わらせる。次の2時間目では、個人だけでなくグループのみんなに相談しながら画像や筆者の技を入れるなど文章をより良くできるように頑張る。		今日は、構成メモをもとに日本の文化の良さを伝える文章を書くことができました。中を書いていっているときに情報が少し足りないところがあったのでそこは学習計画にも書いたように本を読んだり、インターネットで調べたりすることができました。まだ半分くらいで完成はできなかったけど次の時間で筆者の技が使えたり画像なども入れられる余裕ができるように家で進めてきたりして頑張りたいです。	S
5日			今日は、昨日の続きから文章を完成させて筆者の技や写真を入れることができました。中々書くのに時間を経ったので筆者の技や写真が入れられていなかったり筆者の技も一つ一つくわしく入れることができなかったのもで家でやってきたり先生が次の授業でも少し時間を取ってくださったのでその時間で終わらせられるように頑張りたいです。でも筆者の「閉じ語り」と「タンガ語」は使うことができたので良かったです。次の時間では、もっと筆者の技が使えるように家で教科書を読んだりして頑張りたいです。			S
6日			前半は、個人で先生の記事をよりよく出来るようにチェックシートを見ながらなるべくレベル3のコメントを目標しながら書いてより良い文章に変えよう。			
7時間目	月 日					

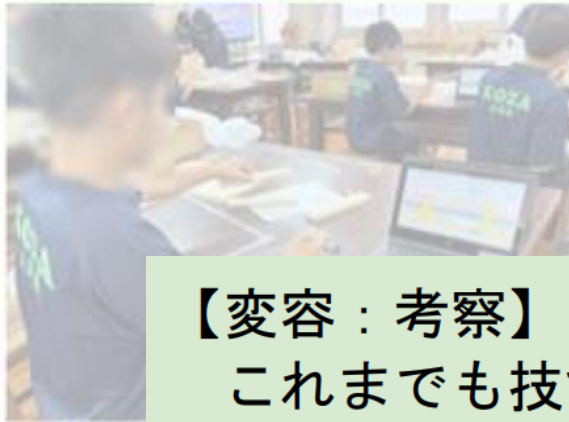


# いつでもどこでも何度でも確認

【取組内容】 学びの手順を示す②

テーマ

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実



手順や  
1人で



## 【変容：考察】

これまでも技能教科では、個別のペースで作業を進めることができたが、クラウドを活用することで、生徒の作業の進捗状況を瞬時に把握できるようになった。また、classroomに学びの手順を示すことで、学年や学級が変わるたびに板書を書き直す手間も省け、欠席生徒がいた際もclassroomがあることで、前時を振り返りやすくなった。そのため、安心して自分の作業を進めることのできる様子が見られる。その他にもこれまで以上に生徒への個別のサポートに入ることができるようになったため、授業時間内で完成させることのできる生徒が増えた。

友達と  
る生徒

## 安心して学びを継続できる

# 学習の見通しを共有することで

## 子供は

- ・目標が明確になり、何を学ぶのかがわかる
- ・いつでもどこでも何度でも必要なタイミングで確認できる
  - 学びの方向性を見失わない
  - 安心して学びを継続できる
- ・めあてと振り返りが結びつき、次の学習の見通しへつながる
- ・ペースや時間配分も自分で調整できる
  - 自分で学びを進められる力をつける



## 教師は



- ・個に応じた指導や支援を充実できる
- ・子供へ「見通し」の確認を促すことが容易になる

主体的に学び続ける子供の育成へ



# リーディングDXスクール事業ポータルサイト



リーディング  
DXスクール一覧

AI 生成AIパイロット校一覧  
(R6年度まで)

公開授業・  
公開学習会予定

取組紹介

指定校実践事例・  
動画

特集ページ

文部科学省

キーワードによる検索



メルマガ登録

イベント情報や各地の実践  
事例情報をお届けします！



リーディング  
DXスクール事業に  
ついて



リーディング  
DXスクール一覧



生成AI  
パイロット校一覧



公開授業・  
公開学習会予定



取組紹介



指定校実践事例・  
動画



GIGAスクールに  
関する通知



特集ページ



リーディングDXスクー  
ル事業ポータルサイト